

文武両道

滝沢市立一本木中学校 学校報 第12号

令和7年2月4日 文責 校長 三浦信之

〒020-0611 滝沢市巣子 148

TEL 019-688-4634 FAX019-688-7257

2025年は「へび年」

へび年は、十二支の6番目にあたる「巳(み)」の年です。へび年は、繁栄や活力、再生、知恵、内省などを象徴する年とされています。また、へびは脱皮を繰り返すことから、2025年は再生や変化を繰り返しながら、柔軟に発展していく年と言われています。

さて、3学期も始業式を迎えてから、もう2週間以上が経過しました。2月の登校日は18日、3月は3年生が9日、1・2年生は13日です。3年生は卒業までの仲間との時間を大切に過ごすとともに、次のステージへ向けた取り組みを一層頑張ってもらいたいと思います。1・2年生も新たな学年に進級するために、そして6年生を迎えるための準備、心構えをしっかりと持ち、充実した3学期にしてほしいと思います。

小学生体験入学の実施

1月28日(火)の午後に、一本木小学校6年生19名が「一本木中学校体験入学」に参加しました。中学生の授業を見て、「小学校とは全然違うと感じました。集中力がすごくて、こんなこともやるんだという興味を持つことができました。」と感想を述べた児童がいました。その後、生徒会執行部による学校生活の説明、応援、合唱、一本木さんさを披露しました。小学生から中学生に対してのエールの返礼もありました。最後に部活動の体験をし、中学生も6年生も充実した時間を過ごしました。



裏面に、学校評価保護者アンケート(12月実施)の結果を掲載しました。来年度の学校経営に生かしていきたいと思っています。アンケートへのご協力ありがとうございました。



悩みを抱えて苦しいときの対処法

～こころの教育講演会～

1月29日(水)に、「みんなで生きる～精神科医として今中学生に伝えたいこと～」と題して、未来の風せいわ病院の智田文徳精神科医師よりご講演いただきました。10秒呼吸法(3秒鼻から息を吸い→1秒息を止めて→6秒口からゆっくり息を吐く)や自分の良いところを持つこと、ただし他人と比較してではなく、良いところも悪いところもあるままの自分を受け入れることの大切さ、相手の気持ちを知ることが難しいが、相手をわかろうとすることの大切さについてのお話がありました。

<太田愛理さん(生徒会長)のお礼の言葉から>

性の在り方は多様であり、自分もその一人であることがわかりました。また、感情を抱えきれなくなった時、気持ちを無理に変えるのではなく、考え、体の反応、行動の3つを変えて対処していくことや、本音で話ができる存在が大切だとわかりました。自分の良いところを探し、心に「バネ」を使っていく、そして良いところも悪いところも受け入れていきたいと思っています。